



「悪の花」セイタカ アワダチソウ

撲滅—いまが最後のチャンス

写真は、上金古曾町内のかたが総出で、国道沿いの荒地に繁殖したセイタカアワダチソウの抜き取り作業を行なっているところです。(十月七日)

セイタカアワダチソウ—すっかり「悪の花」の代名詞となりました。この花は、恐るべき繁殖力をもった帰化植物で、ここ数年急速にひろまってきました。草丈は三呎にも及び、

黄色い花をつけます。この花粉は、ゼンソクの原因となるといわれます。少しの風で花粉が浮遊し、当分地上に降りません。タネと地下茎で急速に繁殖します。いまちようど種子が実る時期です。タンポポの種子と同じように冠毛をつけた軽い種子で、風に吹かれてひろがってゆきます。いまが撲滅の最後のチャンスです。

市では、繁殖場所を調査して、抜き取りを行うとともに、事業所や町内に協力をねがいでいますが、まだまだ各地にみられます。

この花は美しい日本の自然を破壊します。身近なところから抜き取って焼却しましょう。

おもな内容

- 文化財は市民の宝 2ページ
- 旧山大経済学部グラウンド跡地利用に答申 3 //
- カメラルポ 4 //
- 森林は「緑の工場」 5~6 //
- ひと・まち・くらし 7 //
- みんなの広場「胸囲」が落ちる 8~9 //
- 東・西・南・北 10 //
- おしらせ //

文化財は市民の宝

1日～7日・文化財保護強調週間



小川美津恵さん

<会社員>

山口青年ユネスコ
クラブ会員

過去、現在、未来へと時代が流れる中で、さまざまな文化が生まれ育ち、発展してゆきます。自分の周囲を見まわすと、たいせつに

文化財を次の世代へ



上・祇園祭りに舞われる鷺舞

中・源久寺宝篋院塔(仁保)

下・陶の腰輪踊り



豊富な文化財のまち：山口
十一月一日から七日までは、「文化財保護強調週間」です。国民ひとりひとりが、文化財を国民的財宝として愛護してゆく気運をつくり出してゆこうという週間です。
山口市は県下でもっとも文化財の豊富な市で、国宝五重塔をはじめ、国・県・市の指定文化財は七十四件に達します。ことしになって、三月に周防

財は七十四件に達します。ことしになって、三月に周防の文化財に指定されました。鷺舞 堂の前の人たちにより
新しく三件を県指定
十月に、新しく次の三件が県の文化財に指定されました。鷺舞 堂の前の人たちにより

新しく鷺舞など県指定へ

伝承されており、七月二十日の八坂神社の祇園祭りの初日に舞われています。鷺舞の起源は、はっきりしていませんが、大内弘世が八坂神社の神霊を京都から勧請したとき、同じように神事として移したものと伝えられています。
■源久寺宝篋院塔(仁保) 宝篋院塔は、鎌倉時代から出現する石塔で、源久寺の塔は全国的にも古い時代を代表するものと

している物の中には、これまでの成長の経過を伝える物、心の支えとしている物があります。もしこれを他人が壊したり、無くしたら良い気分はしません。同じようにいままでも社会の発展に役立つ、歴史を伝えるのが文化財です。せっかく祖先が残した尊い財産を守ってゆくことは、現代に生きるものの義務でもあります。
今一度、文化財とは何かを考えて、次の世代に受け継いでゆくことが、たいせつではないでしょうか。

—指定文化財—

- ・国宝 瑠璃光寺五重塔
- ・重要文化財 洞春寺観音堂ほか17件
- ・史跡 陶窯跡ほか4件
- ・天然記念物 山口の源氏ボタルの発生地ほか3件
- ・重要美術品 雪舟像ほか4件
- ・山口県指定有形文化財 清水寺山王社本殿ほか 20件
- ・〃 無形文化財 鷺流狂言ほか3件
- ・〃 天然記念物 小鯖楡畑のノハナショウブ自生地
- ・山口市指定文化財 大内盛見像ほか14件

文化財を知り 文化財を守ろう

山口市は文化財の豊富な地だけに、市民の文化財への関心も高く、各地に文化財をたずね、歴史を学ぶ会がつけられています。
山口の文化財を守る会、嘉川の歴史をたずねる会、平川文化財愛護歩こう会、大内史談会、仁保史談会、宮野郷土史研究会などがあります。鴻の峰婦人学級も文化財を学ぶ会です。
文化財を知り親しむことが、郷土を知り、郷土を愛する気持ちにも通じます。
文化財を守る会に入会を希望のかたは、いつでも市教育委員会社会教育課にご相談ください。各地区の文化財をたずねる会等は、各公民館にご相談してください。

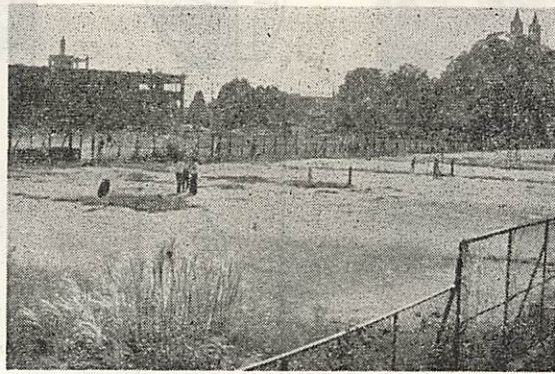
「はたちの声」を募集

- 新しく成人になられる方から次の要領で「はたちの声」を募集します。
- (1) 「成人の日」を迎えて思うこと、「青年」として訴えたいこと、現代社会と青年など
 - (2) 私の職業と将来への希望
 - (3) 青年グループ活動に参加して
 - (4) 明るい地域社会をつくるために
 - (5) その他
- 原稿枚数 四百字詰原稿用紙に五～七枚
■応募資格 昭和二十八年四月二日から二十九年四月一日の間に出生し、住民登録をしているもの
■締め切り 十一月三十日
■送り先 山口市中市町二番十号山口市教育委員会社会教育課(または各公民館)
■応募原稿には氏名、性別、生年月日、現住所、勤務先を記入のこと。
■新成人名簿のえつ覧
新成人の該当者は昭和二十八年四月二日から昭和二十九年四月一日の間に出生し、山口市に住民登録しているかたです。
この名簿のえつ覧を、十二月十日から十五日まで各公民館で行ないます。

市民広場と駐車場に

市開発振興審議会が答申

山大経済学部運動場跡地



旧山大経済学部運動場

左後方の建物は建設中の区の総合庁舎

のうち、一万一千五百九十七平方メートルの総合庁舎が建設中で、ほぼ三分の二の一万八千六百九十五平方メートルの地を、市民広場と市営駐車場として利用しようというものです。

とになっています。また、跡地利用計画をすみやかにすすめるために、同グラウンド東側に隣接する山大職員宿舎の払い下げをうけ、市道中市・早間田線に通ずる用地の確保、市民広場、市営駐車場の進入路の整備、周辺道路網、下水施設の整備をはかることを答申しています。

市庁舎移転対策事務局を

設置——人事異動・十月二十日付

市では十月二十日付けで人事異動を行いました。これは、市庁舎移転対策事務局の設置にともなう異動が主なものです。市庁舎の移転は、旧山大教育学部校舎を買収して、四十九年度中に移転する計画です。

△部長級▽

▽市庁舎移転対策事務局局長篠原秀夫(企画部次長兼開発課長) △課長級▽
▽企画部開発課長篠原文人(開発課主幹) △兼市庁舎移転対策

事務局主幹宮村祝夫(庶務課長) △同金子忠男(建築課長) △同山本一夫(都市計画課長) △課長補佐級▽

▽環境衛生部清掃課長補佐関光寿(開発課第二係長) △課長補佐同格藤田健介(清掃課管理係長) △財政部納税第一係長山形隆(選管事務局選挙係長) △福祉事務所福祉課長補佐小野文作(名田島出張所次長) △同社会課長補佐宮原正吾(会計課物品出納係長) △山口市老人福祉館次長

光永久良(納税課納税第一係長) △兼会計課物品出納係長事務取扱宮崎勝義(会計課長補佐) △市庁舎移転対策事務局主査西村幸夫(福祉課長補佐) △免開発課第一係長事務取扱・兼市庁舎移転対策事務局主査津本実(開発課長補佐兼第一係長事務取扱) △免環境衛生部衛生課衛生第二係長事務取扱佐々木強(衛生課長補佐兼衛生第二係長事務取扱)

△係長級▽

▽企画部開発課第一係長福田武司 △同第二係長竹本功(開発課) △民生部保険年金課(係長同格) 小田昊(課税課) △環境衛生部衛生課第二係長蔵増年郎(衛生課) △都市計画部都市計画課藤井洋二(土木課) △広域市町村圏推進事務局八木節子(職員研修所兼経営改善室) △兼職員研修所本廣隆久(職員課人事給与係長)

選挙管理委員会事務局 △部長級▽
兼選挙係長事務取扱吉村司(事務局長)

第五次漁業センサス・11月1日

十一月一日には、全国いっせいに第五次漁業センサスが行われます。この調査は、漁業の実態を知り、今後の漁業政策の資料とするものです。調査は海面漁業と内水面漁業とに分けて行なわれます。調査対象地区には、調査員がうかがいますからご協力をお願いします。

資金を融資します

小企業の経営改善に

小企業の経営改善をはかるために、小企業経営改善資金融資制度があります。商工会議所で審査し、無担保、無保証の新しい国の貸付制度です。利用できるかた、家族従業員を除いて常時使用する従業員が、商業サービス業で二人以下、製造業その他で五人以下

融資条件 運転、設備資金で融資額は百万円(運転資金は五十万円)以内。融資期間は二年以内で毎月割賦返済。利率年七割。
申し込み 山口市商工会議所

無料法律相談

・とき 十一月十二日(月)

十時～十五時。九時三十分から受け付け先着四十人まで。

・ところ 中央公民館会議室
借地、金銭貸借一何でも気軽に相談ください。



古熊天神祭り・23日はヤッコ行列などで賑わう

11月のこよみ

- 狩猟解禁 1日
- 文化財保護強調週間 1日～7日
- 読書週間 10月27日～9日
- 文化の日 3日
- 七・五・三 15日
- 勤労感謝の日 23日
- 秋の全国火災予防運動 26日～12月2日

■農作業 玉ねぎの植え付けは中下旬に。早目に植えつけ根張りをよくしましょう。酸性に弱いので石灰を十分に投入することがたいせつです。種をまくものではえんどう、そらまめ。えんどうは連作をきらいます。

■芸術・文化の秋 文化大講演会
・1日、山口市文化祭・3日、松竹大歌舞伎・14日、市美展・17～21日 いずれも市民会館
■祭り 野田神社秋祭り・10日、日吉神社秋祭り(平川)・11日、古熊天神例祭・22日～25日

俳句

ど田にも切葉の嵩冬立てり
平川野菊会 又野 敏子

旅立ちし子に手袋を編む夕べ
清水 美江

秋の幸野にまた山に満ち満ちて
二島文芸クラブ 山本 ヒサ

嫁のなき我が家寂しき秋の風
名田島句会 増田よしえ

秋風にママさんバレーびちびちす
中村 勇

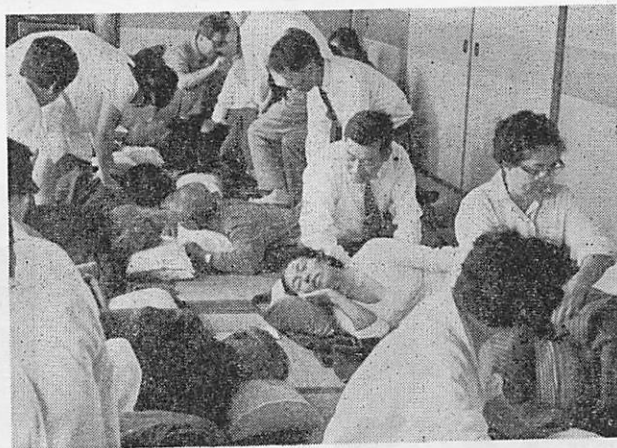


▲ 開校百周年を祝う 秋は運動会のシーズン—足のおそいものにとってはちょっと悲しい徒競「走。力が入る綱引き。ことしは趣向をこらした応援合戦もさかんで元気なよい歓声が秋空にこだました。(10月7日大内小)

▼ 家族ぐるみで楽しむ 「体育の日」の10月10日、家族ぐるみでスポーツに親しもう—と陸上競技場を中心に「市民スポーツデー」が開かれました。市民約五千人が参加して、親子体操やバレーボールなどを楽しみました。



ふるさと
の秋に
ひろう



▲ いい気持ちじゃー10月22日市盲人福祉協会のあんまさんが、嘉川老人クラブ員に安マの奉仕をしました。秋のとり入れにこったからだをもみほぐしてもらい、お年よりは大喜びでした。



▲ 手作りを楽しむ 中央公民館では月二回、袋物、小物入れ作りが始まりました。さいふや名刺入れなど思い思いの布を使って、既製品とは違った味わいを楽しんでいます。

山口の秋は美しい。
山口の秋は楽しい。
健康のよきこびが、青空にこだまし、神楽舞の笛の音が、秋の深まりをおしえる……。



◀ 代神楽復活 県の無形文化財に指定されている小鯖八幡宮の代神楽舞いが10月16日、奉納されました。家内安全と、豊作を祝う神楽舞いも4年ぶりあって、笛、太鼓に合わせてシシ頭の舞いにも熱がこもりました。

山口健康管理センターでは、十一月から健康診断、健康相談を実施することになりました。

● 日 時 毎月第二、第四木曜日、十三時三十分～十五時三十分。受け付けは十三時から十五時まで。(十一月八・二十二日、十二月十三日、一月十・二十四日)

● 検査項目 身長、胸囲、体重、視力、色神、血圧、尿(たん

健康診断・相談を
実施

山口健康管理センター

● 診断料 八百円
● ところ 湯田温泉五丁目二十一、山口市医師会、山口健康管理センター

納税者の声を聞く
旬間・一日～十日

十一月一日から十日までは、「納税者の声を聞く旬間」です。山口税務署では、旬間中税務相談に応じますから、お気軽にご利用ください。

交通量がふえ横断歩道があっても、歩行者の横断がたいへんにむづかしくなっています。とくに子どもやお年よりの横断は……

横断歩道は歩行者が王様

11月を歩行者優先強調月間に

また歩行者は——横断しようとするときは手または横断旗をあげてはつきり合図する。直前の車に合図しない——などをよく守ってください。



11月14日(水) 山口市市民会館
文化庁移動芸術祭歌楽舞伎公演

11月14日・午後2時開演
市民会館大ホール

<入場券は市民会館にあります>

森林は「緑の工場」

環境を守り，暮らしを豊かに

■造林の重要性

農林家のみなさん。ことしも造林の時期がやってきましたが準備はできていますでしょうか。木材の需要は、建築資材として、また紙の原材料として年々大きく伸び、ばく大な量が消費されています。その結果、国内資源ではまかなえず、六〇％以上を外材にた

生活環境をつくり出し、また、農林家の財産づくりに大いに寄与する森林の造成に、力を入れていきます。

■補助金を出します

しかし、造林のたいせつさにもかかわらず、いろいろな原因が重なって、造林が停滞しているのが現状です。そこで、造林に対する国の補

補助金アップ、受託造林もします

よっていますが、各国とも木材資源が乏しくなって、輸出のヒモを締めているのが現状です。また、森林は「緑の工場」といわれるように、この「工場」は、私たちにきれいな空気と水を与え、洪水の調節もして、住みよい郷土づくりに、いちばんたいせつな役割りを果たしているのです。

補助金も改善され、補助金も大幅に引き上げられました。造林種別によっては、県市の加算助成も行なわれ、農林家の自己負担は大幅に軽減されています。・造林の申請は早目に、造林予定地の面積を確定につかみ、苗木の手配や補助金を受けるために、造林予定地が決まったら、早く森林組合に申請してください。補助対象の面積は人工造林

で〇・一畝以上、特殊林地改良で〇・三畝以上です。・造林補助金 普通の林地にすぎ、ひのき、まつなどを造林する人工造林事業と、やせた林地に肥料木（やしやぶし等）とまつ、ひのきなどを混植する特殊林地改良事業とに補助金が出されていますが、本年度から新しく下刈りにも補助されることになりました。

補助金は造林地の状況、造林種別などにより、一率ではありませんが、普通に人工造林（再造林）する場合は、県二割、市二割の合計四割の補助率で金額にして一畝あたり五万円になります。また、特殊林地改良ですと合計で七割の補助率となり金額にして一畝あたり二十一万七千七百円となります。松くい虫駆除

跡地、くぬぎの造林の場合はさらに補助金が加算されます。■造林でたいせつなこと

・樹種の選定、よい苗を ますその林地にふさわしい樹種を植えることが第一です。・「苗半作」といわれます。根元が太く、根張りのよいバランスのとれた苗木を選びましょう。

すぎ苗では根切りした白根のよく出たものが多いものです。植穴は大きく、自然の状態に植えることがたいせつです。また、仮植で失敗することも多いものです。仮植するときは排水のよい畑地に、一本並べに仮植しましょう。

・造林の時期 春植が一般的で三月一っぱいが適期です。まっは早目に植えましょう。秋植えは十月下旬～十一月月上旬までが適期ですが、霜等の害のないよう心がけましょう。

■造林を引き受けます

・森林組合受託造林 造林の労力のない場合は、森林組合に申し込みください。森林組合の労務班で引き受けられます。・公社造林 公共、個人の所有にかかわらず、一団地おむね十畝以上の林地を対象に（これ以下でも、付近の団地とあわせ管理できるものはよい）、公社と所有者が、分取造林契約を結び、地上権の設定登記を行ない、公社で造林、管理経営を行なうものです。

間伐や主伐による収益は所有者四〇％、公社六〇％の割合で分けあいます。造林事業のあらましについてのべましたが、詳しいことなどについては、市の林務水産課、各出張所、森林組合、林業改良指導員におたずねください。



昭和48年度山口県林業用苗木（山行苗）の規格および協定価格

樹種	苗令	規格 号数	苗長 cm	根元径 mm	消費 者格 円
すき	2	2	35~60	6上	12.53
	2	1	45~60	7上	15.10
	3	3	55~70	9上	15.60
ひのき	2	1	35~70	6上	17.10
	3	4	35~60	7上	17.10
	3	3	40~70	7上	19.65
	2	3	50~70	8上	21.45
あかまつ	2	3	20上	6上	7.10
くろまつ	2	3	20上	6上	7.10
くぬぎ	1			4上	16.40
やしやぶし	1			4上	5.75
やまはんのき	1			4上	5.75

山が、死んでゆく

まつくい虫



被害木を切り倒して薬剤を散布
<10月19日、嘉川高見地区で>

一千立方メートルが被害

いま、市内でまつくい虫の被害が急激にひろがっています。とくに、嘉川、二島、名田島地区などの南部地区の被害が大きく、すでに一千立方メートルの被害木が出ています。このまま放置しておくと、近い将来市内のまつは全滅してしまう恐れさえあります。

まつくい虫とは

枯れたまつ皮をはいでみますと、いろいろな種類の幼虫が食害をしています。このような虫のすべてを総称して、まつくい虫といいます。これらのまつくい虫は、二次性害虫といわれ、

つくい虫駆除専用の薬剤を散布。また根株や枝にも散布します。

駆除の時期は八月から翌年二月末まで。八月から十月末までは乳剤(被害木一立方メートルあたり十五リットル)、十一月から二月いっぱいには油剤(同十リットル)を散布します。十一月からの駆除に乳剤を使用しても、幼虫が木の深部に入っているため効果がありません。

● 薬剤による予防 マツノザイセンチュウによる被害の防除の方法として、五月中旬から六月下旬にかけて発生しはじめる成虫の駆除に、立木の葉に予防専用の薬剤を散布します。

■ 早期発見、早期駆除を早くみつけて幼虫が小さいうちに駆除することです。葉や枝にもまつくい虫が入っていますから焼却や薬剤散布をしましょう。被害木を切り倒して放っておくと翌年大発生します。

駆除は地区ぐるみで

まつくい虫は自分の山だけ駆除しても効果がありません。部落や地域全体で話し合い地域ぐるみで完全駆除をしましょう。また、健全なまつが、突然赤くなるのは、マツノザイセンチュウが、まつの木に寄生繁殖してまつを枯らすものです。このマツノザイセンチュウは、こんでくる虫が、まつくい虫の一つであるマツノマダラカミキリです。

駆除の仕方

● 薬剤による駆除 まず、被害にかかった木を切り倒し玉切りにし、樹皮の表面から均一にま

「ここに植えたすぎは年に一層余りも伸びますよ——手をかければかけるほど大きく育ててくれる木に、気が持ていせいでいいです」

宮野、岩杖の加藤健一さん(四国から仕入れたという金太郎さんのマサカリに似た技打ちナタをふるいながら話す。加藤さんが山に関心をもち、植林を始めたのは昭和二十五年頃という。勤めていた時代(市役所)に、宮野で山作りに情熱を傾けた故長井徳次郎さんに感銘を受け、毎



山に行くのが生きがい
加藤健一さん(宮野岩杖・農業)

年すぎや、ひのきなどを植え始め、いまでは五畝の持山の九十坪が見事なすぎ、ひのきの山に育っている。これからは管理育成作業が主となり、下刈りから、

間伐、枝打ちの作業。知事の認可を受け五年ごとに施肥計画を立てて良木作りに精を出す。
「最近、荒れた山が目だつようになりまし。一本一本切れるようになるのも何十年という長い年月がかかるんですから、いそがしい世には合はないところもありまし。でも、いま、木材が高いでしょう。この木も三十年も五十年もむかしのものですから考えようによっては、いまこそ山を作るときかも知れませぬよ」。木々の間からふりそぐ秋日に顔をかがやかしはなしてくれました。

山は。。。いいな

うす雲の広がった十月八日きょうは、学校林の手入れの日だ。

場所は小罾の相刈。二年生全員がカマと弁当を持っていのししでも飛び出してくるような山へ。ツルリステンのあげく、どうにかこうにか作業の場所まで着いた。ここからは班別で作業開始——。

きょうの作業は杉の木にあらんだ、かずら刈り。がんばらなくちゃあ——。

先輩たちもみんな、やってきたんだから。そう思うとなんとなく、木々の間から先輩たちのはなし声が聞えてくるような、不思議な気分になった。はなし声につられるよ



佐々木弘子さん
<大内中2年>

いのししとすずめバチ

の枝にぶらさがっていた。何んだかわからないので、筆ち

うにどんどん登ってみたけどあたりは雑木林。茂みの中からはぬんよ——。言われてびっくり。知らなかつたらもつと近づいてたかも——アゾオ。また逃げだした。それから山を降りる時、うわさのいのししが散歩していたんだって。まだ私、いのししの実物を見たことがないので半信半疑。ことしの作業はいろいろ勉強になった。作業のあとのお弁当。とってもおいしかった。かずらを取ってやった杉の木の中には、直径三十センチのものがあつた。先輩たちが育ててきたのを受け継いで私たちが汗を流す——いつの日か学校の役に立つだろう。

乱開発を防ぎましょう

土地売買・市と相談を

土地の無秩序で投機的な移動と、乱開発を防止するために、県では「緊急土地対策要綱」をまとめて実行にうつしていきま

す。これをうけて市でも「山口市の土地対策に関する事務取扱の指針」を定め土地対策にのり出しています。

これは土地売買の段階で、開発計画を、地域振興計画や周辺

環境との調和、公共事業との関連、災害防止や自然保護、公害防止等の面で事業計画を検討し乱開発を防止するものです。

開発計画が地域のみならずにも受け入れられ、地域開発に役立つことになれば土地売買、事業実施にうつることになります。

おおむね一畝以上の土地売買

のはなしがあったときは、市の出張所か、企画部企画課にご連絡ください。

土地は、たいせつな不動産です。おたがいに住みよい町とするために、よく連絡をとり合ってゆきましょう。

「水色」に変わります

国民健康保険証

現在の保険証は、十一月三十日で有効期限が切れ、十二月から水色の保険証にかわります。ただし、すでに新しい保険証

を受けている人は除きます。

新しい保険証は十一月中旬に地区世話人からおとどけますから、いま使用しておられるふじ色の保険証は、このとき世話人にお返しください。返納されたあとは、十一月中でも新しい保険証が使えます。

なお、新しい保険証は電算化により様式の一部が変わり、住所・氏名などがかたかな書きとなりました。

まちがいがありましたら出張所・保険年金課へご連絡ください。

ひとまち暮らし

「土」

金に替え、ふるさとを「売る」



熊崎 六朗さん (70)

<農業・小鯖>

農業をたいせつにするソビエト

去る七月二十六日から八月九日まで「日ソ農業青年交換セミナー」に参加。(全国から二百人、山口県から熊崎氏ほか三人の農業青年が参加)。モスクワのほか、主としてキシニョフ(モルダビア共和国の首都)で

コルホーズを見学。

「地平線のかなたまで、ぶどう、トウモロコシ、ひまわりの一面の海。日本の「箱庭農業」をあらためて痛感しました。

生活水準は低いですが、たとえば、トマトでもジャガイモでも、虫くいで「見てくれ」は悪いが、農業公害のないきれいな

バラ作りに精を出す

ものです。それを尊重。実質的なものへの価値観について考えさせられた。それに農業をたいせつにし、みんなデンと腰をすえている感じ。」

家庭にも地域にも展望がない

「どうですか、いまの日本の農村の姿は。土地の値上りや

を受けている人は除きます。新しい保険証は十一月中旬に地区世話人からおとどけますから、いま使用しておられるふじ色の保険証は、このとき世話人にお返しください。返納されたあとは、十一月中でも新しい保険証が使えます。

なお、新しい保険証は電算化により様式の一部が変わり、住所・氏名などがかたかな書きとなりました。

まちがいがありましたら出張所・保険年金課へご連絡ください。

待っては切り売りし、家を建て別荘を建てる。土地を車に替える家に替え、遊びに替える。私の部落でも同じこと。自分の目先き欲に走り、地域のことは考えない。全く人生観もふるさと観もない。あるのは「金」への執着だけ——熊崎氏は、最年少の農業委員であり、社会教育委員。「デンとした」ソビエトの農業—農業人の姿を思うにつけ「腹が立って夜も寝れない。」

「みんな出勤く。日ゼニを得、そして、もつとたいせつなものをつ失う。とくに子どものいる家庭では——。家庭に「展望」がなく、当然地域にもない。小鯖には何もない。連絡するものがない。さびしいことではありませんか——」

人——

「：：：そうですね。いま、すべてのおとなが責任を問われるべきです。蚕食されてゆくふるさとの中から、子どもに何をのこそうというのです——。」

同和問題を考える

「あそこは程度が低いところであり」「我々と同等ではない」として、差別観念を支えていることがあります。たしかにそのようなことも見受けられますが、これも同和地区の人々が自分で招いた結果ではなく、そのような状態にあまんじなければならなかった、歴史的・社会的な要因があるのです。

つまり、封建時代の社会的生活道徳として「下には下がある。上見て暮すな、下見て暮せ」という考が、長い間とくに強調されたための「しずめ」としての役割を背負わされてきたからなのです。

他人の不幸をよるこぶ心が

差別のいわれを見つめて(5)



ちが

これが羨望差別といわれているものです。ものには順序があります。長い差別の歴史の中で、もつともきびしく人権を侵され、生活を押しつぶされてきた人たちの立場を、まず大事にする考えかたが、優先されるべきではないでしょうか。

同対審答申書にも、とくに「同和地区なるがゆえに解決されず取り残されている環境そのもの」を部落差別の客観的な事実として示し、その改善の基本方針に「この対策は、健康で文化的な生活を営むため、その生活基盤である環境を改善し、地域にからむ差別的偏見をなくすことである。すなわち、住む所が違ふという意識を醸成する劣悪な環境を改善することは、社会福祉の充

実、経済生活の確立および教育水準の向上などの諸施策の基底となるもので、とくに重要な意義をもっている」と述べており山口市としても同和地区の住宅・道路・下水道・集会所などの整備が急がれ、現在、後期五年計画が立案されています。

ところが、この事業が進むにつれて、「なぜあそこだけをよくするのか」「あそこばかりに金を使うから、わたしの所にはまわってこないのだ」ということばが出ています。

そこには、他人の不幸をそのままにして、自分のしあわせをたしかめようとする考えかたが頭をもたげてはいないでしょうか。

つまり、今まで差別されていた者が、自分よりいけなしいという気持ち

—きつくても、がんばらなくちゃあ



大殿小学校で

過保護・ブラブラの象徴？

「胸囲」が落ちる

下の表は、市内の小学校六年生の四十八年と四十五年の胸囲の比較です。最近の子どもの足が長くなり、あるいは肥満児がふえて、胸囲が身長や体重に比例しては伸びません。しかし十七校のうち十校までが、(・印)四十五年に比べて、落ちているのが分かります。平均ではわずかですが○・一センチ落ちています。

最近の子どもの「生活の姿」が、「胸囲が落ちる」ということに象徴されているといえないでしょうか。勉強、テレビ、からだを動かして遊ばない、手伝わない、がまんしない、ブラブラ、過保護—。

		48年	45年
仁宮大白	小小小	67.1・ 66.3・ 68.8 67.9	68.5 69.2 67.4 68.4
保野殿石	小小小	68.0・ 66.3・ 66.5 68.3	68.3 67.3 65.7 66.3
湯良大平	小小小	69.0 66.9・ 69.8 64.8	66.5 67.6 68.0 66.1
小大鈔陶	小小小	65.9・ 68.6 66.5・ 66.5・ 68.7	69.1 67.4 67.0 67.7 67.5
合 計		67.6	67.7

中学生も落ちる

六年生男子の身長は平均は一四〇・五センチ(一三九・八センチ)、体重は三三・六キログラム(三三・三キログラム)。また中学三年生の場合をみますと、身長は平均が一六〇・九センチ(一五九・九センチ)、体重四九・三キログラム(四八・三キログラム)、胸囲七七・五センチ(七七・七センチ)。カッコ内が四十五年度。

身長、体重はいずれも伸びていますが、胸囲は落ちていきます。児童数の少ない学校では、たまたま大きい子がいた場合など、平均がぐっと上がりますが児童数の多い学校や、中学校でも落ちているところをみますと何か問題がありそうです。



東西南北

■林君らに感謝状

小さな親切運動推進協議会では、このほど幹事会を開いて実行者の推せんを行ないました。その中に次のような親切行為があります。

八月三十日に鴻南中学校二年の林幸助君と、松岡健治君に広島鉄道管理局長から感謝の手紙とアルバムが送られて来ました。

林君たちは、山口線大歳駅構内で線路上に流れていた油にタバコの火が引火、燃え上がったのを見つけ、線路防護員といっしょに消火につとめたものです。

■笑う以前の問題

宮野桜畠の横山八太郎さん(地方公務員)が、九月二十二日朝防石バスに乗っていたときのことで、バスは満員でした。ひとり小学生が立ち補助いすを開くと、大きな声で、「どうぞお座りください」といいました。バスの乗客はどっと笑いました。

小学生は大殿小六年の野野速充君。横山さんは「笑う以前の問題」と、実行者に推せんしました。

すぜんじ

読書会

読書会の日が近づくと会員のみんなが連絡しあい、毎月第二火曜日の夜公民館に集まるんです。会員は二十代から六十代までの男性八人。

年齢差がありそれがかえって話題を豊富にし、四角ばった感じがしません。昭和四十年十二月に発足。この会が、長続きしている秘密は、会員の年齢の幅の広さ、また、本の内容だけにとどまらず、本を起点として年齢の別なくリーダーになり、実際の体験を通して話しあうときには本論からはなれて、

つどい

時事問題などに発展してゆくことができるからでしょう。とにかくいそがしい毎日の生活の中で「月に一冊は必ず読みましょう」を合言葉に楽しい会となっています。



読書の秋

少しは読みましたか...

読書の秋です。十月二十七日から十一月九日までは「読書週間」です。テレビの影響もあって、おとも、子どももあまり本を読まなくなりましたがとくに子どもたちのとき良書を読むということとはたいせつなことです。



本に親しむ

三の宮保育園

三の宮保育園(三の宮一丁目)では、市内の保育園でも初めて「絵本のコーナー」ができました。子どもが本に親しむを持ち、本のおもしろさを目をむけさせるのがねらい。職員は休養室にたたみのある部屋に本棚が置かれています。幼児期から本を見る、読むの習慣づけられるように、絵本を中心に、読んで聞かせる本など約七十冊。この本は子ども達が望めば貸出しもできます。

きついことはさけてとおる

小鯖小の渡辺利彦教頭「やはり、学校での体育活動、家庭や地域での生活にかかわりがあるのではないのでしょうか。この頃は、きついことは避けて通る傾向にあります。

テレビ、マンガ

機械運動など、できる、できんがはつきりしている。できん子はおもしろくない。やらさない、やらさない。ただ、小学生のときは、「バランス」ということがたいせつですが、中学生になったら「体力をつける」トレーニングが必要。しかし小学校のときから、おもしろくない、きついことはやらさないか

名田島小の宮本英雄教諭、養護の富永アヤ子教諭「この地区は全体に体格が悪い。動物性たん白質の摂取が少ないことや、出勤が急激にふえインスタント食品に偏る傾向があるようです。

からだを使

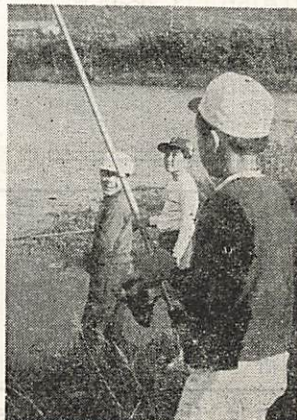
市教育委員会学校教育課田中清久指導主事「基礎体力が落ちていきます。この頃は、立ち

遊びにしても「先生遊ぶにも相手がいない。どうして遊ぶんよ」といったようなことで、学校から帰っても、親もいない、子どもも少なく、遊ぶ相手もないで、家の中でマンガを見たり、テレビを見たりということになるんです。農村も変わった。農作業が機械化されたとはいえず、農繁期に中学生が、だ菓子屋などにたむろしてブラブラ。どこかが抜け

まちかどで

「わーつけた、つけた。」秋の日射しのもとに子ども達の歓声が上がる。「何が釣れる……」「ハヤやフナ。きのうはでつかいのを釣った」

つり...ただ、遊び



「食べるの……」「食べられるわけじゃないじゃろ。ヘドロや水銀がいっぱいだよ」釣りはあくまで遊びで食べるということを全然考えない子どもたち。子どもたちにとっては山口の川も死んだのだろうか？

この四月、新一年生になった長男の初めての運動会。秋暗の中で子ども達がわれを忘れて走ったり、ころんだり。親子とも楽しい一日でした。久しぶりの運動会でしたが最近では変わりましたね。手拍

私たちの頃は太陽の下でゴザを敷いただけでした。みんなはだしでした。くつをはいた運動会でなくて、良かったと思いますよ。最近ではなかなかはだしになる機会が少ないから、せめて学校のグラウンドで

運動会も変わりました



溝部森江さん 主婦 <大内矢田>

子どもあざやかな応援風景。さすが現代子です。運動会の楽しさが倍加したようです。でも、子ども達は、テントの中でいすに腰をかけて見えています。なんだかひ弱な感じがしないでもありません。はだしで——はだしの運動会は大賛成です。また、運動会に賞品がないですね。私たちは鉛筆などもらうのが大変うれしかったものです。でもいまは鉛筆一本ぐらいでは喜ばないかも知れません。

社会福祉事業協賛

木下大サーカスショー

とき 11月2日~12月10日
ところ 中央4丁目大グラウンド
(下清水バス停前)
社会福祉事業協賛サーカスとして、中国新聞社が主催、山口県、山口市、県市各教育委員会が後援。

市民短文芸大会

とき 11月17日(土)、12時30分開会
ところ 中央公民館
題 俳句(当季雑詠)、短歌(雑詠)
川柳(うっかり)当日会場で

ドリル演奏と音楽の夕べ

出演 中国四県警察音楽隊
とき 11月9日(金)、18時から
ところ 市民会館大ホール
入場料 無料。

盆栽展

11月2日~4日
中市町ちまきや、入場無料。
松柏類を中心に秋の盆栽展。

青年「対話の宿」を開催

市教育委員会主催で、11月17日~18日の泊2日で行います。くわしいことは各公民館におたずねください。

年賀状をつくりましょう

孔版の講習会
とき 11月15日、22日~18時30分~21時、25日~午前10時~17時
ところ 中央公民館
会費 400円、ほか材料費200円、色刷りの年賀状をつくります。

老人ホーム福寿園築寄付金

K氏(糸米1丁目)1万円(第8回目合計8万円)
天理教北山口支部10万円
兼行恵雄氏(前町)2万円(第16回目合計32万円)

自衛官募集

18歳~24歳の男子、くわしくは、市民課、各出張所へ。

自衛隊グラウンドを開放

球技大会などにどうぞ。(日曜、祭日に限ります)3日前までにご連絡ください。

自衛隊創隊記念日

11月3日 陸、海空合同で、10時から記念祝典ほか。

訂正

10月15日号市報3ページの「続曲がったキュリ論議」のうち岩崎サキ子さんであるのは岩城サキ子さんの誤りでした。おわびして訂正します。

お知らせ

狩猟解禁・11月1日
一歩まちがうと
大事故がー
秋から冬にかけてのレジャースポーツ、狩猟が十一月一日から解禁になりました。
鉄砲を肩にえものを求めて野山をかつ歩するハンターも銃の扱い方を一歩まちがえれば、大きな事故がまぢ受けています。
狩猟もスポーツ。あくまでスポーツマンシップで法令を守って事故のないようにしましょう。



獲物と間違えて人を撃った、ころんで暴発してけがをした。よく起こる事故です。

山口市水道給水装置工事施行者の指定

昭和四十八年十一月一日から次のかたを山口市水道指定工事店としました。
指定十一号 山口市白石一丁目三番四号(奈良屋商会、電話・四一一一一)
指定十二号 山口市湯田温泉三丁目一番二十九号 第一総業設備機器KK 電話・二一

「花いっぱい市民のつどい」

11月8日・農業試験場
日時 十一月八日午後一時三十分~四時
場所 山口県農業試験場講堂
ことしの「花いっぱいコンクール」の表彰、実践発表、講話などのほか場内見学など。

県の中小企業への年末資金

資金使途 運転資金
限度額 一企業五百万円(組合三千万円)以内
融資期間 六か月以内
利率 年七・三%
受け付け 十二月三十一日まで
申し込み 取扱金融機関

一日 程 表

Table with columns for Date, Time, and Location/Event. It lists various events and their schedules throughout the month of November.

インフルエンザの予防注射

該当者 満三歳以上の希望者
料金 三歳以上六歳未満 九〇円、十五歳以上二百三十円(いずれも一回分)。生活保護世帯は無料。有熱者や妊産婦はできません。

第二回 山口市民文化祭

とき 十一月三日 十時三十分開場
ところ 市民会館大ホール
内容 箏曲、尺八、現代舞踊、長唄、小唄、日本舞踊、詩吟
入場無料。
また、三日~四日は展示ホールで総合華展を開催。



もり上がってきた
花いっぱい運動
出演 二島公民館主事
野間寛市
放送 十一月八日(木)午
前七時十分、十一時三十分
テレビ山口(38・49CH)
から

Table with columns for Date, Hospital Name, Location, and Phone Number. It lists medical services and contact information for various hospitals.

県口腔保健センター(吉敷)では、日曜・祭日診療をします(9時~15時)